



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社 昭和真空
コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0385

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,975	34.4	921	53.6	917	78.4	756	77.5
29年3月期第2四半期	4,447	10.6	599	0.0	514	11.2	426	24.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 794百万円 (145.3%) 29年3月期第2四半期 323百万円 (43.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	122.84	
29年3月期第2四半期	69.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	13,997	7,840	56.0	1,273.14
29年3月期	11,787	7,292	61.9	1,184.14

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 7,840百万円 29年3月期 7,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		40.00	40.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,630	34.6	1,476	57.3	1,470	63.5	1,127	58.7	183.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	6,499,000 株	29年3月期	6,499,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	340,327 株	29年3月期	340,287 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	6,158,680 株	29年3月期2Q	6,158,713 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足説明	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日)における世界経済は、総じて緩やかに回復しました。米国では個人消費や雇用者数が増加するなど着実な回復が続き、欧州でも消費の増加、設備投資に持ち直しの動きが見られ、中国では各種政策効果もあり景気上向きの動きが見られました。国内経済については、企業収益の改善等を背景に緩やかな回復基調が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォン・車載関連を中心に電子部品需要が堅調に推移しました。電子デバイスメーカー各社の設備投資も前向きな姿勢が継続しました。また、各社の次世代製品開発への取り組みは意欲的に推移しました。

こうした環境の中、当社グループでは好調な市場を捉え、既存分野への深掘りによる拡販を推進するとともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓に注力しました。また、次世代製品に向けた電子デバイスメーカーからの依頼実験や製品開発にも継続性を持って取り組むことで事業の拡大を図ってまいりました。

生産面では、前期の受注残及び堅調な受注を背景に生産量が増加し、稼働率は良好に推移しました。また、メンテナンス性改善や社内検査の強化など、さらなる品質向上に取り組みました。

損益面では、安定した稼働率とグループ一丸となって取り組んでいるコストダウンの推進等により利益率の改善に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は52億99百万円(前年同四半期比24.9%増)、売上高は59億75百万円(同34.4%増)となりました。

損益につきましては、経常利益9億17百万円(前年同四半期比78.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億56百万円(同77.5%増)となりました。

セグメント別の状況はとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、受注は主にスマートフォンに搭載される電子部品、光学部品向けの製造装置が好調に推移しました。

受注高は43億24百万円(前年同四半期比28.2%増)、売上高は50億1百万円(同39.8%増)、セグメント利益は12億1百万円(同46.3%増)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、周波数調整工程向けの装置を中心に受注が堅調に推移しました。

水晶デバイス装置の受注高は18億40百万円(前年同四半期比26.1%増)、売上高は19億3百万円(同69.7%増)となりました。

(光学装置)

光学業界では、反射防止膜成膜装置を中心に、期初受注残を着実に納品し売上計上しました。一方、受注はやや足踏み状態となりました。

光学装置の受注高は11億95百万円(前年同四半期比18.2%増)、売上高は20億62百万円(同192.7%増)となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、自動車のリフレクター向け装置の受注など、既存技術応用分野及び新規市場の開拓に地道に取り組んできた成果が徐々にではありますが出てきました。

電子部品装置・その他装置の受注高は12億88百万円(前年同四半期比43.0%増)、売上高は10億34百万円(同40.9%減)となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、当社装置ユーザーに対する定期的な稼働状況確認など積極的に働きかけることで、装置の改造・修理や消耗品の販売に努めました。

サービス事業の売上高は9億74百万円（前年同四半期比12.0%増）、セグメント利益は2億18百万円（同4.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は108億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億80百万円増加しました。これは主に現金及び預金が15億24百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が23億89百万円、仕掛品が9億27百万円、繰延税金資産が2億円増加したことによるものです。固定資産は31億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円増加しました。これは主に有形固定資産が減価償却等により23百万円減少したものの、投資有価証券が59百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は139億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億10百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は50億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億34百万円増加しました。これは主に電子記録債務が6億74百万円、前受金が5億89百万円、未払法人税等が2億82百万円、賞与引当金が1億16百万円増加したことによるものです。固定負債は11億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加しました。これは主に繰延税金負債が18百万円、退職給付に係る負債が12百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は61億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億62百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は78億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億48百万円増加しました。これは主に利益剰余金が5億10百万円増加したことによるものです。

純資産の増加以上に資産が増加した結果、自己資本比率は56.0%（前連結会計年度末は61.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成29年9月14日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想に変更ありません。

なお、当社グループを取り巻く市場動向を踏まえ、今後の業績推移につきましてはより慎重に注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,679,437	2,154,740
受取手形及び売掛金	2,678,380	5,067,701
商品及び製品	3,697	2,996
仕掛品	1,993,977	2,921,174
原材料及び貯蔵品	140,414	176,652
繰延税金資産	176,115	376,709
その他	41,559	196,123
貸倒引当金	△52,495	△54,252
流動資産合計	8,661,086	10,841,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	617,911	604,156
機械装置及び運搬具(純額)	69,240	53,485
土地	2,066,249	2,066,249
その他(純額)	82,039	87,964
有形固定資産合計	2,835,441	2,811,856
無形固定資産		
リース資産	11,377	8,607
ソフトウェア仮勘定	-	4,797
その他	76,312	69,161
無形固定資産合計	87,689	82,566
投資その他の資産		
投資有価証券	192,810	251,853
その他	10,668	9,887
貸倒引当金	△211	△279
投資その他の資産合計	203,267	261,461
固定資産合計	3,126,399	3,155,884
資産合計	11,787,485	13,997,730

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,312,989	1,322,310
電子記録債務	1,255,771	1,930,625
短期借入金	111,732	111,972
リース債務	21,237	20,809
未払費用	171,914	242,611
未払法人税等	105,874	388,582
前受金	4,611	594,064
賞与引当金	194,758	311,045
役員賞与引当金	70,000	37,000
製品保証引当金	53,000	39,000
工事損失引当金	28,320	2,080
その他	63,170	27,816
流動負債合計	3,393,382	5,027,918
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	50,000	50,000
リース債務	33,563	30,212
繰延税金負債	49,038	67,527
退職給付に係る負債	443,166	455,746
長期未払金	75,571	75,490
固定負債合計	1,101,339	1,128,977
負債合計	4,494,722	6,156,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	2,463,577	2,973,772
自己株式	△278,137	△278,181
株主資本合計	7,116,520	7,626,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,815	144,802
為替換算調整勘定	72,327	65,744
退職給付に係る調整累計額	99	3,614
その他の包括利益累計額合計	176,242	214,161
純資産合計	7,292,763	7,840,834
負債純資産合計	11,787,485	13,997,730

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,447,149	5,975,311
売上原価	3,084,141	4,154,312
売上総利益	1,363,008	1,820,999
販売費及び一般管理費	763,297	899,646
営業利益	599,711	921,352
営業外収益		
受取利息	711	959
受取配当金	1,014	1,601
受取賃貸料	5,883	1,055
物品売却益	3,742	-
その他	3,455	2,518
営業外収益合計	14,807	6,135
営業外費用		
支払利息	5,813	1,620
売上割引	5,352	2,332
為替差損	74,068	3,997
賃貸物件関係費	1,088	-
社債発行費	11,974	-
その他	1,829	1,719
営業外費用合計	100,127	9,670
経常利益	514,391	917,817
特別利益		
固定資産売却益	-	22
特別利益合計	-	22
特別損失		
固定資産除却損	70	378
特別損失合計	70	378
税金等調整前四半期純利益	514,320	917,460
法人税、住民税及び事業税	65,710	361,076
法人税等調整額	22,375	△200,158
法人税等合計	88,086	160,917
四半期純利益	426,233	756,543
親会社株主に帰属する四半期純利益	426,233	756,543

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	426,233	756,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,815	40,987
為替換算調整勘定	△87,414	△6,583
退職給付に係る調整額	1,827	3,515
その他の包括利益合計	△102,402	37,919
四半期包括利益	323,831	794,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	323,831	794,462

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	514,320	917,460
減価償却費	74,692	63,378
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,137	16,095
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△86,000	△33,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,354	116,286
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△42,000	△14,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	20,520	△26,240
受取利息及び受取配当金	△1,725	△2,561
支払利息	5,813	1,620
売上債権の増減額(△は増加)	△670,371	△2,393,013
たな卸資産の増減額(△は増加)	277,046	△960,987
未収消費税等の増減額(△は増加)	-	△95,487
仕入債務の増減額(△は減少)	△60,886	679,927
未払消費税等の増減額(△は減少)	△82,678	△35,135
前受金の増減額(△は減少)	152,561	589,452
その他	90,454	21,399
小計	188,531	△1,154,802
利息及び配当金の受取額	1,725	2,562
利息の支払額	△5,166	△1,584
法人税等の支払額	△129,220	△81,435
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,871	△1,235,260
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,204	△1,201
有形固定資産の取得による支出	△48,945	△19,654
無形固定資産の取得による支出	△12,919	△2,620
その他	480	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62,588	△23,476
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△800,000	-
社債の発行による収入	438,725	-
長期借入金の返済による支出	△200,000	-
長期借入れによる収入	50,000	-
配当金の支払額	△244,987	△245,740
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9,569	△10,667
自己株式の取得による支出	-	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△765,832	△256,450
現金及び現金同等物に係る換算差額	△87,875	△10,710
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△860,424	△1,525,897
現金及び現金同等物の期首残高	4,085,431	3,645,167
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,225,007	2,119,269

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,577,132	870,016	4,447,149
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,793	3,620	5,414
計	3,578,926	873,637	4,452,564
セグメント利益	821,537	209,983	1,031,520

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,031,520
セグメント間取引消去	10,153
全社費用(注)	△441,962
四半期連結損益計算書の営業利益	599,711

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,001,013	974,298	5,975,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,264	8,665	11,929
計	5,004,277	982,963	5,987,241
セグメント利益	1,201,636	218,394	1,420,031

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,420,031
セグメント間取引消去	3,637
全社費用(注)	△502,317
四半期連結損益計算書の営業利益	921,352

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

当社は、平成29年9月14日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産の譲渡を決議し、平成29年10月17日付けで契約締結いたしました。

1. 譲渡の理由

経営資源の有効活用および効率性の向上を図るため。

2. 譲渡資産の内容

資産の名称	大野台パーツセンター
資産の内容	土地 1,516.04㎡
資産の所在地	神奈川県相模原市南区大野台二丁目2488番2他
譲渡前の用途	遊休資産

3. 譲渡の相手先の概要

譲渡先は国内の一般事業会社ですが、守秘義務の観点から譲渡価額、帳簿価額および譲渡先の概要については開示を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者への該当状況に関し、特記すべき事項はございません。

4. 譲渡の日程

取締役会決議日	平成29年9月14日
契約締結日	平成29年10月17日
物件引渡期日	平成30年3月(予定)

5. 連結損益に与える影響額

当該固定資産の譲渡に伴い、当連結会計年度において、固定資産売却益29百万円を特別利益として計上する予定です。

3. 補足説明

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,903,793	169.7
光学装置	2,062,382	292.7
電子部品装置	1,034,836	59.1
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	5,001,013	139.8
サービス事業		
部品販売	505,946	104.4
修理・その他	466,626	121.4
サービス事業計	972,573	111.9
合計	5,973,586	134.4

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	1,840,580	126.1	1,533,162	133.3
光学装置	1,195,983	118.2	2,144,410	196.1
電子部品装置	1,288,316	143.0	1,332,800	153.7
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	4,324,881	128.2	5,010,372	161.1
サービス事業				
部品販売	507,671	104.6	—	—
修理・その他	466,626	121.4	—	—
サービス事業計	974,298	112.0	—	—
合計	5,299,179	124.9	5,010,372	161.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,903,793	169.7
光学装置	2,062,382	292.7
電子部品装置	1,034,836	59.1
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	5,001,013	139.8
サービス事業		
部品販売	507,671	104.6
修理・その他	466,626	121.4
サービス事業計	974,298	112.0
合計	5,975,311	134.4

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。